

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895  
FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### デジタル視点で本業を再定義する

1. わが国におけるIT投資は停滞し、1995年を基点とする米国とは3倍もの差がついている。欧州にも後れを取り、もはや後進国という言葉さえささやかれる。「情報通信白書」によれば、この間企業では情報システム構築はコア業務ではないという理由で、システム開発の外部委託が進んだことを指摘している。
  2. 外部に依存したIT部門は、社内でも「コア業務でない」縁の下の力持ちと見なされ、経営からは遠く離れた存在となっている。昨年夏、大手流通業のバーコード決済サービスが不正アクセス問題のため開始早々1カ月でサービスを廃止する事態となったが、経営陣と現場との隔たりが理由である。
  3. デジタル時代に対応するため、システム構築をコア業務と位置付け、本業をデジタル視点で再定義し、IT部門と経営部門が一体となってビジネスそのものを変革していかななくてはならない。
- デジタル技術やIT部門軽視の経営では、デジタル時代は乗り超えられない。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2020年2月1日号)

## 人事・労務について

### 流れに逆らわず与えられたものに感謝

宮田 修 (熊野神社宮司、元NHKアナウンサー)

1. 大学卒業から60歳まで、NHKアナウンサーとして働きました。現在は、千葉県にある神社の神主をしています。実家が神社というわけではありません。人生の流れに逆らわず生きてきて、気がついたら、いつのまにかこうなっていたのです。実は、定年後の人生も視野に入れ、30代から千葉にセカンドハウスを借りて、終末は田舎暮らしをしていました。その家の家主さんが、神主でした。
2. 53歳のある日、大家さんから「神主の跡を継いでくれないか」といきなり頼まれ、引き受けました。神主になるためには、「日本書記」や「古事記」に基づく神道の勉強をします。学ぶうちに、流れに身を任せてきた自分の生き方が、非常に日本的だということに気がつきました。西洋では、より大きな幸せを求めて現状を打ち破っていく生き方をしますが、日本では、与えられたものをよしとして、感謝し、そのまま受け入れます。

(参考:「PHP」2020年4月号)

## 経営者のための危機管理

### 社内企業家の出現で収益を上げる

1. 「社内起業」の実験が小規模ながらパナソニックで進んでいる。この試みが成功すれば、同社復活の助けとなるだけではない。革新的な高成長企業が同社から次々に巣立っていくはずだ。大企業の中で、起業家の役割を与えられた従業員を社内起業家と呼ぶ。研究開発部門など既存の指揮系統から独立して活動する点に最大の特徴がある。
2. 各種研究によれば、社内の起業家の多い企業ほど革新性が高くなり、収益も上がる。社内起業家の3割ははいずれ自分で会社を立ち上げ、そこから大企業が育つことも少なくない。だが日本の社内起業家は米欧に大きく見劣りし、これが日本経済の成長を妨げる一因となっている。

(参考:「週刊東洋経済」2020年2月22日号)

## 古典に学ぶ

### 人は智愚尊卑に差がある

(解説) 一郷一村に見るも、すでに大分の差があり、一県一州に見れば、その差はさらに大きく、これを国に見ればますます懸隔して、ほとんど底止するところなきにいたるのである。人すでにその智愚尊卑においてかように差等を有するとすれば、その価値を定むるもまた容易のことでは無い。いわんやこれに明確なる標準を附するにおいてをやである。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)